

2025年12月20日 昼下がりの演奏会 # 2

於：CampGear&Cafe BASE

13:30～プレトーク / 14:00～演奏会

- Performer -

Violin 安間 桃花

Pianoforte 浜本 麻実嘉

- Program -

アヴェ・マリア (エレンの歌 第3番)

(フランツ・シューベルト 作曲)

カンタービレ 二長調 Op.17

(ニコロ・パガニーニ 作曲)

3つのヴァイオリンと通奏低音のためのカノンとジーク 二長調

(ヨハン・パッヘルベル 作曲)

ノクターン第2番 変ホ長調 Op.9-2

(フレデリック・ショパン 作曲)

タイスの瞑想曲

(ジュール・マスネ 作曲)

チャルダッシュ

(ヴィットーリオ・モンティ 作曲)

アヴェ・マリア (エレンの歌 第3番)

(フランツ・シューベルト 作曲)

一般的には「シューベルトのアヴェ・マリア」として知られるこの曲は、オーストリアの作曲家シューベルト (1797-1828) が、ウォルター・スコットの叙事詩『湖上の美人』のドイツ語訳に曲を付けた『歌曲集「湖上の美人」』全7曲中の第6曲『エレンの歌 第3番』として作曲されたもので、カトリックの典礼文に曲を付けたものではない。

「アヴェ・マリア」は直訳すると「めでたしマリア様」「こんにちは、マリア様」といった意味で、この一文に始まるカトリック教会の聖母マリアへの祈祷そのものを指す言葉としても用いられている。

カンタービレ 二長調 Op.17

(ニコロ・パガニーニ 作曲)

パガニーニ (1782-1840) は、イタリアの名ヴァイオリニストとしてヨーロッパ中に名を馳せた人物である。彼のヴァイオリン曲は超絶技巧を要する難曲がほとんどだが、この曲は技術を見せつけるというよりはゆったりとした美しい旋律が魅力的で、ヴァイオリンを知り尽くしたパガニーニが、存分に楽器に歌わせるように書かれた曲である。「カンタービレ」は「歌うように」といった意)

3つのヴァイオリンと通奏低音のための

カノンとジグ 二長調

(ヨハン・パッヘルベル 作曲)

『パッヘルベルのカノン』として知られるこの曲は、カノンが有名だが、実はジグと合わせて1組の曲となっている。ドイツの作曲家・オルガン奏者であったパッヘルベル (1653-1706) が生涯に残したカノンはこの一曲だけだという。

カノンとは曲の様式の名前で、複数のパート

が同じ旋律を異なるタイミングからそれぞれ開始して演奏するような曲を表す。パッヘルベルのこのカノンは、3つのヴァイオリンパートがそれぞれ同じ旋律を2小節ずつずらしたタイミングで奏で始める、大規模な輪唱となっている(最後は同時に終了するために多少の省略がある)。

ジグは舞曲の一つで、バロック時代の舞曲では終曲として定番のものである。フーガ風に処理され(カノンのように、同じような旋律がタイミングをずらして順々に奏でられる)、カノン部とは打って変わって軽快で跳びまわるような旋律が印象的である。

ノクターン第2番 変ホ長調 Op.9-2

(フレデリック・ショパン 作曲)

「ピアノの詩人」とも呼ばれるポーランドの作曲家ショパン (1810-1849) は生涯にノクターン(夜想曲)を21曲残したが、その中でも特に有名な曲がこの作品である。

「夜」という名がつく曲には、ノクターン=夜想曲の他にセレナーデ(セレナード)=夜曲というものもある。セレナーデは、夜に恋人のために窓の下などで演奏するような楽曲で、《野外》で《持ち運びできる楽器》を手ずから弾きつつ熱唱するようなイメージのある言葉である。イタリア語の「セレナータ」もこれと同様の意味だが、17世紀頃には、室内で演奏されるカンタータに対し、野外で演奏するセレナータは小部屋ではうるさくってしまう金管楽器や打楽器なども利用できた、という点が特徴である。夜とは言っているものの、夜をイメージした楽曲というよりは、日が沈んだ頃に野外で演奏するための曲、というくらいのものであった(今では野外や儀礼などといった意味合いはなくなり、演奏会用の作品として書かれる)。

一方でノクターンは、多くは夜をイメージした、あるいは夜の黙想・瞑想をイメージさせる

曲として書かれるようなもので、ショパンはこの形式をより自由でロマンティックなものへと発展させた。「ノクターンといえばショパン」というイメージがあるのも、こういったことが大きいだろう。

タイスの瞑想曲

(ジュール・マスネ 作曲)

マスネ (1842-1912) はフランスの作曲家。オペラが最もよく知られている。特に、オペラ『タイス』の第2幕第1場と第2場の間、美に執着する高級娼婦のタイスが改心し、神の道に向かう決心をするという場面で奏でられる『瞑想曲』はよく知られていて、ヴァイオリンの重要なレパートリーの1つでもある。

チャルダッシュ

(ヴィットーリオ・モンティ 作曲)

ハンガリー語で「酒場」という意味のチャールダに由来する「チャールダーシュ(チャルダッシュ)」は、ハンガリーの酒場における募兵活動のための男性たちのダンス・ヴェルブクに由来する。19世紀にはヨーロッパ中で大流行し、ウィーンの宮廷は一時チャールダーシュ禁止の法律を公布したほどだったという。

このジャンルの音楽の中でも、日本で最も有名といってもいいのはイタリアの作曲家モンティ (1868-1922) によるこの楽曲である。彼の作品としてこれ以外に知られているものは無いといってよいのだが、ヴァイオリンのレパートリーの1つとして頻繁に演奏される楽曲である。ゆったりとした部分と速い部分の極端な対比も印象的で、華やかな曲である。中間あたりの部分の、ヴァイオリンのフラジョレット奏法(ハーモニクス奏法)など、軽快でノリのよい作品ながら、ヴァイオリンのさまざまな表情も楽しめる曲となっている。

【演奏者】

ヴァイオリン：

安間 桃花 (あま・ももか)

大阪音楽大学ヴァイオリン演奏家特別コース4年次在学中。

第11回みおつくし音楽祭大阪クラシックコンクール弦楽器 一般大学の部 第3位受賞。

大阪音楽大学管弦楽団 サマー・コンサート2025、第68回定期演奏会にてコンサートミストレスを務める。

2025年、ドイツ、テューリンゲン州のゾンダースハウゼン音楽アカデミーに参加し、コンサートに出演。

現在、北浦洋子氏、日比浩一氏に師事。

リトミック研究センター初級指導資格、中級指導資格取得。上級指導資格取得見込み。

中学校、高等学校教諭一種免許状(音楽)取得。

ピアノ：

浜本 麻実嘉 (はまもと・まみか)

大阪音楽大学ピアノ演奏家特別コース4年生。第16回ベーテンピアノコンクール自由曲コース(大学・院生A部門)第2位、Beethoven Young Musician Competition Advanced Artist カテゴリー第1位など、国内外のコンクールで入賞。

演奏活動では、Japan Liszt Piano Academy「若きピアニストとの出会い vol.1」、ポラリス国際音楽祭「Next Talent『音の万華鏡』」、島村楽器グランフロント大阪「Flesh Talents! 煌めくピアノコンチェルト vol.1」、International Piano Camp Seoul 2025 修了コンサートなどに出演。また、第34回大東第九コンサートでコンチェルトのソリストを務めるほか、2025大阪・関西万博にて開催されたa-tune「e-Symphony in EXPO 2025 ~ Music Unites the World ~」ではプログラム内で独奏を行った。ライブハウスでも演奏するなど、活動の幅

を広げている。

これまでに一本松直子、福井亜貴子、東桂子の各氏に師事。現在は赤松林太郎、阿見真依子、岡原慎也各氏のもとで研鑽を積む。また、小学生の頃からヴィルヘルム・ケンプの愛弟子、田村美和に師事し、秦はるひ、パリ国立高等音楽院教授イヴ・アンリ各氏の指導も受ける。

山岡トロイメライ音楽財団第1期奨学生。

プレトーク・司会：

仮屋 賢一（かりや・けんいち）

作曲家で俳人。

2025年、大阪・関西万博のステージのために『Uni-Tunes』を作曲、また本番ではこの曲を含め、万博にて指揮を務める。

2017年、イタリア・アルバ音楽祭に作曲家として参加し、フルートオーケストラのための『蝶 Le Farfalle』を新作初演。また、武満徹作曲のピアノ曲『ロマンス』をフルートオーケストラ用に編曲し、こちらも初演。

2024年3月には、私立高等学校の吹奏楽部定期演奏会において、オリジナルミュージカル曲の作詞作曲を担当。

また、今様音楽企画のメンバーとして、「美山音楽祭」の準備・企画・運営に尽力。

音楽祭期間中は、新曲の初演のみならず、司会やワークショップ講師やトークショー登壇なども行う。

作曲は独学。今様音楽企画、関西現代音楽交流協会、関西室内楽協会に所属。また、俳句雑誌「壺」代表として俳句も嗜む。

昼下がりの演奏会 於：CampGear&Cafe BASE

《今後の予定》

#3

2026年1月12日（月祝）
フルート&ピアノ

#4

2026年2月14日（土）
クラリネット&ピアノ

13:30～プレトーク / 14:00～演奏会
入場無料・0歳から入場可・出入自由

～「昼下がりの演奏会」とは～

ここ CampGear&Cafe BASE を、「誰でも気軽に音楽と触れ合える」場にしたい、そんな思いで2025年11月に開始したシリーズです。本格的でありながら、ふらっと訪れて、気軽に楽しめる演奏会です。

今回のイベントについて、以下のQRコードのアンケートからぜひご意見・ご感想等お聞かせください！ いただいた貴重なご意見は、今後より良いイベントを創り上げていくため、参考にさせていただきます。



主催：

合同会社リコラボ

代表 仮屋賢一（作曲家・俳人）

ウェブサイト <https://ricollab-create.com/>

お問い合わせ：075-275-7570

info@ricollab-create.com

右のQRコードからLINE友だち登録して、イベント最新情報をGET！ ここからお問い合わせもしていただけます。

